

北茨城民報

2004年11月14日

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

雨情の里港まつり

十一月七日、北茨城市商工会主催の「雨情の里港まつり」が、秋晴れのもと盛大に開催されました。アンコウ鍋やサンマのつかみどりなどには今年も長蛇の列ができました。

新鮮な漁協の海産物と農協の農産物が隣同士のテントに並ぶのも北茨城ならではの光景です。バザーや食事の提供など市民グループのテントでも、多くの市民が集い、なごやかな交流がみられました。

保健センターのテントでは、血液さらさらチェックや骨密度検査などが無料で受けられるとあって、たくさんの方が並び、市民の関心の高さをうかがわせます。

舞台では歌謡ショーが行なわれ、また通路をつかつてのよさこいソーランの踊りの披露などにも盛んにカメラがむけられました。遊覧船での航行には、たくさんのカモメがあとをついて飛び、子どもたちの歓声があがっていました。



北茨城が誇る黒毛和牛のブランド「花園牛」は乳牛さんもおすすめ



保健センターのテント前

ご相談は
お気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎ 42-2462



市議会議員
福田 明
☎ 43-0468

第8回火力発電所 問題全国連絡会 いわき市 で開催



十一月二〇日、いわき市の「勿来の関荘」で第8回火力発電所問題全国連絡会が開催されました。徳島、舞鶴、愛知県の碧南、銚子など全国各地で火力発電に関わる住民団体の代表などを含めて三十数名が参加しました。

会議では主催地の報告として、北茨城火発の計画撤回に至る経過や火発のもたらす酸性雨と公害問題などについて北茨城の住民団体から発言がありました。

日本共産党市議団も参加し、福田明市議が北茨城火発を断念させた背景と議会の動向について「東電は『電力需要の低迷』と言っているが、火発に反対する住民運動があったからこそ市も立地の受入れに慎重にならざるを得ず、今日の電力を取巻く諸情勢ともかみ合って断念させることができたと思う。いまだに議会としては火発の建設を東電に要請しているが、きつぱりと断念すべきだと考える」と発言しました。

また、いわき市の参加者からは、浜通り地域の原発問題や勿来火発の増設問題等が報告され、全国各地の代表からも取組みの状況が活発に出されました。

中郷温泉 通りゃんせ で料金割引

中郷温泉「通りゃんせ」では、この11月から来年3月まで、料金割引デーが設定されています。毎週金曜日、および休館日にあたらない隔週の水曜日で、昼夜とも100円ほどが割引かれます。

「北茨城民報」はインターネットでもご覧になれます。
<http://www5d.biglobe.ne.jp/~jcp-ktib/>